

第56号

C-STEP ニュース

人間を主役にした人材雇用開発



『特別寄稿』現場からの報告「障害者クリーニング工場奮闘記&コロナ第4波-現実-」

社会福祉法人恩賜財団済生会支部大阪府済生会 常務理事 讃岐 富男
(一般社団法人おおさか人材雇用開発人権センター 理事)

エピソードI

【障害者クリーニング工場「りんくうワークス」ができた。】

2012年6月、大阪府済生会の障害者クリーニング工場が稼働した。就労継続支援事業所A型・B型。知的障害者、精神障害者が働く泉州では初めての本格的な洗濯工場だ。連続洗濯脱水機、ロール仕上機、トンネル仕上機など最新設備が揃った。病院や施設の患者さんや職員の衣類・寝具を清潔にして届けていく。病院・施設の衛生面を障害者が支える事業の始まりだ。しかし、操業は開始したものの仕事がない。3時には洗い終わり仕上げも終わってしまう。そんな毎日が2年ほど続いた。初年度の売上は8百万円足らず。赤字補填の借金は膨れていくばかり。採算を取らないと設備資金の返済もできず、利用者の賃金も支払えない。創業後5年経ってこのままでは廃業というところまで追い詰められていた。損益分岐点を下げるには、生産量を2倍にするしかない。再建築として参加を予定していなかった4病院が参加を決めた。一方、それだけの数量を洗濯するには利用者の習熟度の引上げ、少量多品種の生産工程の標準化、配送体制の見直し、特に管理部門の合理化が避けて通れない。電気、ガス、工水削減、洗濯工程の改革が必要だ。ここは福祉施設だが民間工場と同じ経営感覚を持たなくてはダメだ。皆が気持ちを変え、自発的な改革運動が始まった。朝の交代出勤による連続運転、土曜日の清掃出勤、自発的な早期退職、ありとあらゆるところに考えを巡らせ利用者と職員が一丸となって改革に取組んだ。生産が増えると残業、慣れてくると生産増、この繰り返しで工場を変えた。今では誰が見てもりっぱなクリーニング工場。皆の成長は業績として現れてきた。品質も最高レベル、稼働率も利用者の技術力も飛躍的に上がった。今では、利用者が朝から機械を動かし自分たちで工場を切り盛りするようになった。2020年度決算は初の黒字に。5年間に渡る努力の結果であった。今年7月の経営改善会議、施設長から報告があった。「6月の生産高は過去最高となりました。」このままいけば、再建計画の目標とした2億円に達する。借金を返すにはあと何十年もかかるが、働き甲斐のある工場になった。今日もりんくうワークスでは、A型36名、B型11名の知的障害者等が働き、コロナ病室に関わる医療関係者や患者さんの衣類、寝具も洗ってくれている。それぞれの現場で、C-STEPと障害者が活躍できる事業、環境づくりを進めてまいりましょう。

エピソードII

【第4波、コロナウイルスと医療現場】

今年4月中旬、どんどん感染者が増えていく。大阪府済生会では、府内8病院全部がコロナ感染者の入院治療を行っている。本部から「国から済生会病院に対し看護師の応援派遣の要請がある。大阪コロナ重症センターに看護師を派遣してくれ。年末並みにやれないか。」。一方、府からも受入病床を増やしてとの要請が連日寄せられる。何とか応じていきたい。けれど看護師や技術職員が足りない。他の診療科病床を減らし看護師を廻さなければならない。他の救急疾患も対応するのが医療機関としての使命だ。現場は、焦燥し限界に近づいていた。本部は、大阪のことが分かっていないのでは。21日に大阪の全病院長と本部との緊急WEB会議を開くことにした。その前日、私は北斎場にいた。労働者支援施設に勤める親友のMさんが亡くなった。「自宅で脳梗塞の症状が現れ仲間が助けに行った。救急車を呼んで手術先を探してもらったがどこの病院も受け入れてくれない。そんな中、受入れてくれたのは済生会中津病院だけだった。ほんまに感謝しています。」Mさんの同僚が私に語り掛けた言葉が頭から離れない。感染者受入にどの病院も精いっぱい。この時、コロナ感染者治療のために脳梗塞や心臓疾患などの急患の受け入れ余地は狭まっていた。Mさんは10時間に及ぶ手術の結果一命をとりとめたものの翌日帰らぬ人となってしまった。21日の会議、各院長から報告が行われた。理事長は「大阪の状況がここまでとは分かっていなかった。本部として全力で支えます。」。連休明けを待たず全国の済生会病院から看護師が大阪に応援に来てくれた。本部の要請に自ら手を挙げて来てくれたのだ。九州、中国、北陸、中部。どの病院も手一杯のはず。これで何とか乗り切れる。現場の院長や看護部長の気持ちは、私にもひしひしと伝わってきた。今では、感染者の入院治療のみならず、感染在宅療養への訪問看護にも取り組んでいる。



A'ワーク創造館よりお知らせ

**2021年度
大阪市「就労チャレンジ事業」
(就労訓練事業)**

**大阪市・区と連携して就労機会や就労体験の
場づくりにご協力ください!**

生活困窮者自立支援制度と就労チャレンジ事業について

この事業は、2015(平成27)年4月に施行された、生活困窮者自立支援法に基づいた事業です。大阪府は、「就労準備事業」と「就労訓練事業」を一体とし「就労チャレンジ事業」として運営しており、A'ワーク創造館が共同事業体として受託しています。

就労訓練事業とは

様々な事情を抱え、「仕事をしたいが、すぐ仕事につくのは不安がある」といった方に「認定就労訓練事業所」^(注1)で、その事業所が行っている実際の仕事の一部を担っていただく訓練事業です。訓練を通じて、一般就労を目指していきます。

どんな人が利用するのか?

働きたくてもすぐに働くことが難しい人や、長い就労ブランクがある人たちが利用されています。



職場に馴染めず、短期転職を繰り返してしまう人



何らかの障害があり、一般就労が難しい人



リストラや倒産にあい
就労ブランクがある人



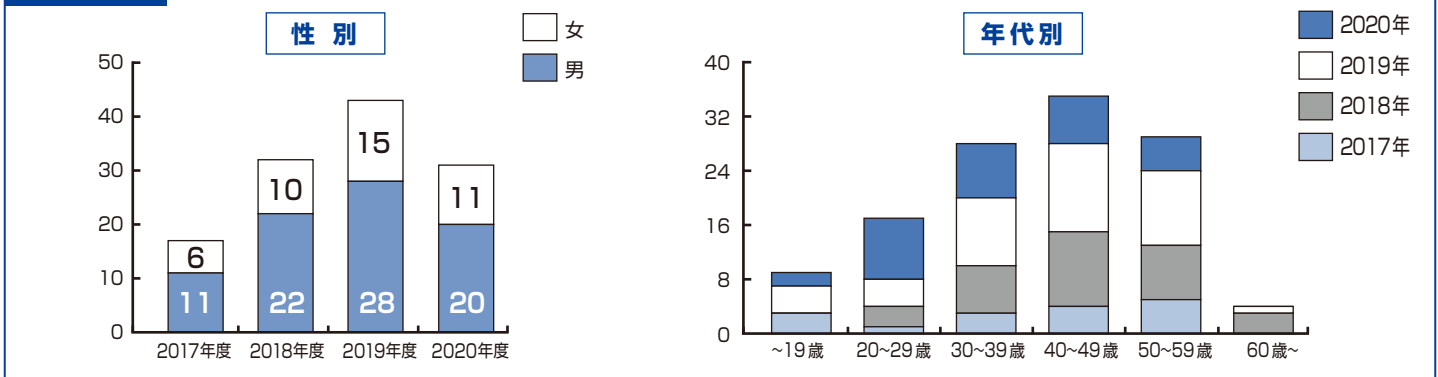
長期のひきこもりで、
就労ブランクがある人

(注1)

認定就労訓練事業所とは

生活困窮者支援のために、訓練受け入れを行う事業所のことです。認定事業所になるためには、事業所ごとに大阪市長から認定を受ける必要があります。現在、100ヶ所以上の事業所がありますが、職業の選択肢を増やすためにも、より多くの事業所に登録していただけるようにお願いしています。

利用者データ



必要なのは、安心して長く働ける環境です

生活困窮状態になってしまう人の多くは、職場になじめず短期離職を繰り返すことで、働くことへの自信を失っています。必要なのは、安心して長く働ける環境なのです。そのためにも、企業の皆様のご協力が必要です。

Q. 訓練期間はどのくらいの期間が目安ですか?

概ね、3~6ヶ月を想定していますが、見直しや更新をすることも出来ます。日数も週1~5日まで、ご都合に合わせて決めていただけます。利用者の方に合わせることも可能です。

Q. 訓練の受け入れや採用を断ってもいいですか?

はい。訓練前に、必ず受け入れ可能かどうか確認させていただきます。また、訓練終了後の雇用義務はありません。ですが、お互いに合意していただければ、訓練終了後雇用も可能です。

Q. 訓練を受け入れた場合の助成金はありますか?

残念ながら、補助金や助成金はありません。しかし、訓練開始後も事業所の皆様に任せっきりせず、A'ワーク創造館がしっかりサポートいたします。

人材スキルアップ定期コース10月期 「職場実習コース」を開催しました。

2021年10月19日～11月8日に人材スキルアップ定期コース（10月期職場実習コース）を開催し、これから就職活動を行う方、未経験の職種を体験してみたい方など、8名の方が受講されました。

【座学】4日間 10/19(火)～10/22(金)

- ・履歴書の書き方、面接の受け方
(講師:大阪労働局)
- ・企業からのアドバイス
(講師:C-STEP会員企業 人事担当者)
- ・ビジネスマナー、コミュニケーション
などについて(講師:C-STEP)



座学の様子

【職場実習】約2週間 10/25(月)～11/5(金)

C-STEPの会員企業で実習をさせていただきました。

【修了式】11/8(月)

感想や気づき、今後の目標について発表しました。

受講を終え、続けてC-STEPの就職マッチングにエントリーをし、就職が決まった方からは「スキルアップコースの受講が就職活動に積極的に取り組む第一歩になった」との声がありました。C-STEPでは引き続き受講者の就労支援を行っていきます。ご協力いただいた企業の皆さまありがとうございました。

人と仕事をつなぐ企業の集い2021を 開催しました。

2021年11月16日(火)、大阪市立阿倍野区民センターで「人と仕事をつなぐ企業の集い2021～障がいのある方の雇用機会の創出に向けて～」が開催され、企業や就労支援機関、支援学校等の雇用・就労支援担当者など約150名にご参加いただきました。

【第1部】支援学校等の生徒の就労に向けた取り組みについて

大阪府教育庁から府立支援学校等における就労支援の取り組みについて説明していただいた後、大阪府立むらの高等支援学校、大阪府立生野支援学校から授業内容や職場実習、進路指導などについてお話をいただきました。

【第2部】『日東電工特例子会社「日東ひまわり茨木」の現状と課題』

日東電工株式会社人財本部副本部長の松井卓哉さんからNit toグループのダイバーシティ推進や特例子会社について紹介していただいた後、日東ひまわり茨木株式会社 代表取締役の柴田健一さんから事業内容、人材育成、今後取り組みたいことなどについてお話をいただきました。



第2部の様子

今回の集いでは支援学校等および障がいのある方が働く職場における新型コロナウイルス感染症拡大防止の取り組みによる影響や課題などについてもお話をいただき、今後の障がいのある方の雇用創出、就労支援について考える機会になりました。ご講演いただいた皆さま、ご参加いただいた皆さま、ありがとうございました。

◆人材スキルアップ定期コース2月期(障がいのある方対象)のご案内◆

日 程：2022年2月1日(火)～2月21日(月)

内 容：履歴書の書き方・ビジネスマナーなどの座学(4日間)、
企業・事業所での職場実習(約2週間)

受講を希望される方はお住まいの市町村の地域就労支援センターにご相談ください。

(企業・事業所のみなさまへ)

職場実習の受け入れ先を募集中です。障がいのある方の雇用を考えている企業・事業所の方など、ぜひお問合せください。

「きしわだ障害者就職模擬面接会」を 実施しました!

11月26日(金)、岸和田市立福祉総合センターにて、「きしわだ障害者就職模擬面接会」を開催しました(主催:岸和田雇用対策委員会、企画運営:C-STEP)。岸和田市での開催は今年で5年目になります。今回は精神・知的・聴覚障がいのある20代～50代の6名が参加し、入室から退室までの動作を確認しながら面接練習を行いました。ご自身の面接体験に加え、他の方の受け答えや動作を見て実践的に学ぶ機会になりました。



模擬面接会の様子

★参加者の感想より(抜粋)★

- ・机の上で考えているだけでは分からなかった動作のことなどアドバイスしてもらえてよかった。
- ・優しく、でも的確で分かりやすいアドバイス、次に活かせると思います。
- ・良い所と悪い所を明確にして頂いたことを、これからの就職や面接に役立てたいと思います。

2021年度 雇用問題研究会を開催します。

就職困難者の雇用・就労について考える「雇用問題研究会」を開催します。今回は就労を希望する障がいのある方の支援を行っている「就労移行支援事業所」のなりたちや支援事例についてお話を伺い、今後の障がいのある方の雇用、職場定着支援につなげていきたいと考えています。ご関心のある皆さま、ぜひご参加ください!

※新型コロナウイルスの感染拡大状況によって中止または延期する場合があります。

日 時 2022年1月28日(金) 14:00～16:00

会 場 大阪市立阿倍野区民センター 大ホール

内 容 わかりやすく解説!
障がいのある方と企業を結ぶ就労移行支援事業

第1部

基調講演「障害者就労移行支援事業所とは(仮)」
全国就労移行支援事業所連絡協議会 会長 酒井大介さん

第2部

就労移行支援事業所からの事例報告
(大阪府内3事業所)

参加費 無料

定 員 申込み先着200名(会場収容定員の1/3以下)
※開催当日はコロナウイルス感染予防のためマスク着用をお願いします。

申込み 申込書をC-STEP事務局までFAX(06-6910-6033)

締 切 2022年1月21日(金)

主 催 (一社) おおさか人材雇用開発人権センター

協 賛 大阪府就労移行支援事業所連絡会

就職者の声

エームサービスジャパン株式会社(市立豊中病院事業所) Aさん(40代男性)

今号では“[食]から日本の未来を支えます”をコーポレートスローガンとして、全国で給食事業を展開されているエームサービスジャパン株式会社に就職されたAさんと、豊中病院事業所の責任者でユニットマネジャーの成重淳也さんにお話を伺いました。

Aさんは、これまでの職場での辛い経験から、自分の障がい(不安神経症)を理解していただける職場であれば精一杯頑張りたいとの思いで、C-STEPの人材スキルアップコースに参加され、エームサービスジャパン(株)が運営している病院給食の厨房実習に臨みました。その結果、今年4月見事に就職されました。

・厨房での実習はどうでしたか

これまで調理の経験はほとんどありませんでしたが、一度やってみようと思いで参加しました。4日間と自分の希望する期間に申し込んでいただけたのも参加しやすかったです。



ここは仕込みの場。隣に調理や洗浄スペースが続きます。

それでも最初は、朝早く起きて片道1時間の通勤と、慣れない職場での緊張や気疲れでしんどい時もありましたが、何よりもスタッフの皆さんが親切で、とても丁寧に教えてくださったので働きやすかったです。職場体験は仕事内容や雰囲気も自分に合う・合わないが分かるので、そういう機会があることはいいことだと思います。

・ここで働きたいと思った決め手は?

やっぱり「人」だと思います。皆さんいい方で何でも訊きやすく『働き心地』が良かったです。どんなに良い仕事でもきつく言われたり、一緒に働く人たちとの関係がうまくいかなければしんどいですし。。。それに、最初は食器・調理器具の洗浄が主な業務だと思っていたのですが、盛り付け補助や野菜等の仕込み作業も体験させていただき、より自分に合う仕込み作業を中心にさせていただけたのも有り難かったです。

・現在の作業内容について

実習中はエリンギをパックから出したり、玉ねぎの皮むきやジャガイモの皮をピーラーで剥くなどの作業でしたが、入社後は包丁を使っていろんな野菜を切ることもしています。



野菜の仕込み。包丁使いにも慣れてきました。

切り方も一口大やきざみなどいろいろあるので、先輩スタッフに確認して行っています。時々、洗い場の手伝いに入ることもあります。

・入社後、これまでを振り返ってどうですか?

だいぶ慣れてきました。作業内容も少しずつ増えてきましたが、初めての職種で覚えることもまだたくさんあると思います。物覚えは良くない方だと思うので何度も訊きますが、その都度教えていただけて助かっています。

・今後の目標は?

指示のメモを見て自分でできるようになること。それと、今は週4日で9:00~15:00の勤務ですが、いずれは就労時間・日数を増やしていければと思っています。今はもう少しこのまま順調に継続していけることを目標にしています。

【エームサービスジャパン株式会社】

エームサービス株式会社の子会社。オフィス・工場、病院・高齢者向け施設、学校、会議・研修施設、スタジアム・エンターテインメント施設におけるフード&サポートサービスやリフレッシュメントサービスまで事業を展開。グループ全体で全国約3900か所の施設において、1日約130万食を提供している。

【成重ユニットマネジャーにお伺いました】

・実習を受け入れてどうでしたか?

初めの実習では慣れないところもあったでしょうが、Aさんは当初から周りとのコミュニケーションが取れていました。そのお陰で分からないところや質問など仕込みのスタッフによく訊いてくれたので、仕事にも雰囲気にも早く慣れて溶け込めたようです。当初からAさんはこちらからも話しやすい方でした。

・現在のAさんの様子は

今では朝昼晩一日各300食の仕込みを担う厨房のスタッフとして頑張ってくれています。勤怠もよく真面目に一生懸命やってくれています。忙しい時は食器洗浄にも入ってもらえてとても助かっています。



(左から) 成重ユニットマネジャーとAさん。

・Aさんへのエール

今はまだ指示を仰いで仕事をしていますが、指示書(メモ)を見て少しずつ自分で考えてできるようになれば、自分の自信にもなり、成長につながると思います。調理場管理(片づけ・整理整頓)など新たな業務にも挑戦していただきたいですね。

・気づき

職場実習を通して気付いたことですが、仕事を覚えてもらうにしても、自分たちの教え方がどうなのかということです。人によって指示の仕方がまちまちであったり、また、その方に合った教え方になっていないこともあったかもしれない。そういうことでAさんも戸惑ったことがあるかもしれませんが、よく頑張ってくれました。こうした経験を活かして改善を重ね、誰もがより働きやすい職場づくりをしていきたいと思っています。



編集・発行

一般社団法人 おおさか人材雇用開発人権センター (C-STEP)

〒540-0028 大阪市中央区常盤町1丁目3-8

中央大通 FN ビル 14 階

tel.06-6940-6600 fax.06-6910-6033

URL (ホームページ) <https://www.c-step.or.jp>